

# きりゅう 市議会だより



第11回議会報告会・意見交換会（東公民館） ※岡部議員は都合により欠席

平成26年第1回定例会は、2月24日(月)に招集され、3月19日(水)までの24日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長提出議案など40件の審議を行い、それぞれ可決、同意又は異議ない旨回答することに決定しました。

## 主な掲載記事

- 一般質問……………2～4
- 請願の審査結果・お知らせ・人事案件……………4
- 平成26年度予算を可決  
一般会計の補正予算……………5
- 議案と結果……………6～7
- 意見書……………8

# 一般質問

## 質問者

福島賢一(桐新会)  
 山之内肇(公明クラブ)  
 人見武男(創志会)  
 岡部純朗(桐両クラブ)  
 渡辺修(無会派)  
 森山享大(創志会)  
 佐藤幸雄(桐新会)  
 西牧秀乗(無会派)  
 北川久人(創志会)  
 佐藤光好(創志会)  
 新井達夫(桐両クラブ)  
 井田泰彦(無会派)  
 飯島英規(無会派)

3月18日(火)・19日(水)の2日間にわたり、13人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属会派名(無会派は、会派に属さない議員)

### 群馬東部水道事業 広域研究会について

福島賢一(桐新会)

質問 東毛四市プラス五町の枠組みへの再参画の考(浄水場建設予定地)



えはあるか。

回答 現時点では、当面(仮称)梅田浄水場建設に専念させていただきたい。

現在、群馬大学理工学部と産学官連携によるICT技術を活用した管网管理システム構築の研究に入っている。このことは、多くの水道事業体が技術継承や人口減少などの課題と共に直面している課題であり、この研究結果が将来的に広域化の中でも活用できれば、水道事業の将来において、大きなプラス要素となるものと考えている。

### 自主防災組織

人見武男(創志会)

質問 当市における自主防災組織の設置形態及び活動内容は。

回答 設置形態は区単位と町会・自治会単位の組織があり、区単位が九組織、町会・自治会単位が十一組織で現在二十の組織がある。また、区単位の組織のうち二つは町会との連合体となっている。活動内容は災害時要援護者の把握や支援体制の整備、防災用資機材や食糧・飲料水の購入・備蓄

など万一の事態に備えるとともに、災害時を想定しての防災訓練等を通じて初期消火、避難誘導、負傷者救出訓練などを行っている。(避難訓練の様子)



### 大雪への対応と対策

山之内肇(公明クラブ)

質問 除雪作業における協力体制強化に向け、委託事業者以外で重機などを保有する各地の事業者等とのネットワーク構築の研究をすべきでは。

回答 今後、警察等関係機関と協議する中で、研究して行きたい。

質問 大雪のノウハウを学び、対策を強化するため、豪雪地帯の自治体との災害応援協定の締結が必要では。

回答 地域防災計画には、「遠隔地自治体との災害応援協定締結の推進」の項目もあり、今後の大雪被害の対応を考える中で、災害応援協定拡充の検討をしたい。



(除雪作業の様子)

### ぐんま緑の県民税

岡部純朗(桐両クラブ)

質問 ぐんま緑の県民税の徴収方法は。

回答 個人県民税は現行の均等割額千円にぐんま緑の県民税分七百円が加算され、個人市民税と併せて賦課徴収する旨が地方税法及び市税条例に規定されているため、市県民税一体の従来の方法で賦課徴収させていただくことになる。また、法人県民税は資本金等の額に応じて均等割額が定められており、均等割額の七バ

ーセント相当額をぐんま緑の県民税分として上乗せし、各法人が直接県税事務所へ申告納付していただくことになる。(関連パンフレット)



## 消費税率引き上げ

渡辺 修(無党派)

**質問** 消費税率引き上げが景気を更に冷え込ませ、実質的には賃金引下げと同じ結果をもたらすとの懸念を持つ。所得が伸びない、あるいは非正規雇用の拡大も予想されるが市税収入への影響は。

**答弁** 駆け込み需要の反動が若干懸念されるが、低所得者層並びに子育て世帯への家計の負担を考慮し、給付金が支給される予定となっている。更に、買い叩

(桐生市役所)



きなどの行為を禁止する施策も講じられることから、市税収入への直接的な影響は生じないと考えているが、今後も動向を注視したい。

## 違反職員について

西牧 秀乗(無党派)

**質問** 管理責任について。  
**答弁** 管理監督の地位に

(桐生市役所)



ある職員は、部下に対して指導、監督を行うこととされており、それに反するような場合は、監督責任が問われることが一般的である。

**質問** 違反職員をなぜ処罰しないのか。

**答弁** 職員の懲戒処分を行うに当たっては、具体的に判断する他ないが、社会観念上著しく重い処分にならないように、また公正の原則に従い適切、妥当な判断をしなければならず、重すぎる処分は裁量権の濫用とある。このことから、これからも適正に判断していく。

## 震災の記憶風化防止

森山 享大(創志会)

**質問** 「被災地を忘れてないでください」という陸前(被災地派遣業務報告会)



高田市長の悲痛のメッセージに対し、桐生市として、今後の支援及び記憶風化防止する取り組みは。

**答弁** 市内に新たな生活の拠点をもちたいと考えている避難者が安心して定住できるように必要な支援を行いたい。また、新年度も被災地への職員派遣や、被災地の物産販売を通して支援したい。更に「広報きりゅう」での特集や職員向けの被災地派遣業務報告会を開催したが、今後、報告会を市民向けに開催することも含め検討したい。

## 開発型企業誘致について

北川 久人(創志会)

**質問** 豊かな自然環境を有する梅田地区に研究・開発型の施設を誘致すれば、

大型施設は必要なく、自然環境にも大きな影響を与えず、本体の企業を誘致する足がかりにもなると思うが、桐生市の自然環境を生かした企業誘致について市の考えは。

**答弁** 本誘致は、研究者など優秀な人材を必要とすることから雇用の層に厚みが生まれ、理工系大学生の

## ドクターヘリ

佐藤 幸雄(桐新会)

**質問** ランデブーポイント箇所は、どのようになっているのか。

**答弁** 旧桐生市が二十八箇所、新里地区が八箇所、黒保根地区が三箇所の計三十九箇所となっている。

**質問** 着陸の際の安全等の対応は、どのようになっているのか。

**答弁** ランデブーポイントの安全管理については、県内の消防機関が安全管理をしなければならないとい

(群馬県ドクターヘリ)



う基準になっており、ランデブーポイントの適切なポイントを示して、消防隊一隊が出動し、安全管理を行なっている。

## 豪雪による農業被害と支援

佐藤 光好(創志会)

**質問** 今回の記録的大雪は多くの農業従事者に被害をもたらししたが被災状況と支援策の内容は。

**答弁** 三月十二日現在で被害戸数は二百五十五戸、農業用施設等の総被害金額は約八億一千万円となっている。支援策は、被災したハウス骨材等の清掃センターへの無料受入れの簡略化、見舞金の支給、種苗等の購入費の助成、被災農業者向け国の支援制度の活用など

がある。農業者の窮状を考えると迅速な事業実施が求められるので来年度早々に事業が実施できるよう国や県に働きかけていきたい。(被害のあった農業施設)

Uターン就職先にもなり得ると考える。今後も当市の企業立地環境の効果的な情報発信を行い、優良企業の誘致に繋げたい。



(桐生川源流林)



## 森林経営計画について

新井 達夫(桐岡クラブ)

質問 「森林経営計画」地区に隣接する山林は、同計画に基づく伐採が行えず、別の計画を立てなければならぬが、どう考えるか。

答弁 県の林政課では、区域計画を新設した森林経営制度の見直しを進め、平成二十六年からの実施に向けて準備をしている。新設の区域計画では、属地区画における林班の二分の一以上という制限はなく、区域内で三十ヘクタール以上

(市内の山林)



であれば、林班界を超えられるというイメージのものだが、まだ決定しておらず、事例によりことなるようなので、具体的なケースで協議いただきたい。

## 情報共有のための取り組み

井田 泰彦(無党派)

質問 「ちばレポ」のような、地域の課題について、市民からスマートフォン等により位



(桐生市ホームページ)

置情報付きの写真レポートを送ってもらい、WEB上で市民と市役所が課題を解決するような取り組みはできないか。

答弁 日常生活での困りごとの相談などは、投書やメール、ホームページからの投稿で連絡をいただき、担当課が対応している。今後は、「ちばレポ」の本格運用後の効果や問題点等も参考にしながら、既存の情報発信ツールとの比較や、既存システムを利用してさらに効果的な仕組みができないか研究したい。

## 日本一の教育文化都市へ

飯島 英規(無党派)

質問 市内には数多くの高校、さらに国立大学理工学部が存在している。桐生市が子育て日本一で、桐女



(群大理工学部)

の問題解決を含め、真の意味での学園都市になれば、桐生市は日本一の教育文化都市になる可能性を感じるが、市の考えは。

答弁 教育機関の集積は、桐生の自然、歴史、文化などといった地域資源に勝るとも劣らない貴重な資源であり、これらの資源に磨きをかけることにより、まちの魅力はさらに高まるものと考えている。この恵まれた教育環境を生かすことはもちろん、桐生女子高校のことも含め、今後研究していきたい。

## 議長定例記者会見を

## 開催しました



桐生市議会では、桐生市議会基本条例第13条に基づき、本定例会終了後に議長記者会見を開催し、議案の審査結果や議員別表決の状況等について発表しました。今後各定例会終了後に開催する予定です。

## 請願の審査結果

この定例会では、請願4件の審査を行い、いずれも閉会中の継続審査となりました。

◎閉会中の継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
経済建設委員会	第24号	労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める請願
教育民生委員会	第19号	子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める請願
	第22号	就学援助事務手続きの改正を求める請願
	第23号	「全国一斉学力テスト」学校別結果公表反対を求める請願

## お知らせ

◆次回定例会の開催予定は… **6月2日(月)です。**

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

平成26年第1回定例会の会議録は、6月上旬からご覧いただけます。なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。

## 人事案件

市議会は、次の人事案件三件に同意または異議ない旨回答することに決定しました。

教育委員会委員

高橋 清晴氏 (再任)

監査委員

石井 謙三氏 (再任)

人権擁護委員候補者

青木 けい子氏 (新任)

# 賛成 討論

平成26年度予算は444億円となり、依然として厳しい状況ではあるものの前年度比3.7%増の積極的予算であると言える。その中でも投資的経費は、前年比49.7%増、金額にして12億8400万円増の38億6600万円であり、市長をはじめ当局執行部の行財政改革の結果によるものと高く評価する。また、主要事業として、織都桐生を全世界にPRする機会となる織都千三百年事業補助、自主防災会の活動を支援する自主防災事業、『メイド・イン桐生』の小水力発電設備開発に向けた環境都市推進事業、資産割を廃止し平等割の減額を行う国民健康保険税のあん分率の見直し、スズメバチの巣駆除費用に対する補助制度、保育園、幼稚園の第3子以降の保育料無料化、学校耐震化と平行したトイレの洋式化を行う小学校改修事業、小さい頃から織物体験ができる小学生の織物体験事業などは、市民生活の向上につながる事業として評価する。

歳入については、消費税増税に伴う地方消費税交付金の増収分が第3子以降の保育料無料化、中学校3年生までの子どもの医療費無料化事業に配分されるとのことで着実に社会保障の充実に使われることが確認できた。

その一方で今後の課題としてみどり市との合併や市民一人一人が実感できる経済対策の実行を強く要望するものである。

桐生市が抱える人口減少問題を的確に把握・分析し、効果的な政策を実施するとともに、これから桐生市が目指す『学園都市構想』『働きたくなるまち』『住みたくなるまち』を実現するための初年度にふさわしい予算執行を望む。

# 反対 討論

総務省の事務次官通知には、『住民の納得と指示が得られるよう、給与制度・運用・水準の適正化を強力に推進すること』とあるが、現在の給与制度は、住民の納得と支持が得られているのか。

また、平成26年度予算は基本的に前年度予算を踏襲したものであり、富裕層や大企業の税負担を軽減する一方、勤労世帯は賃金そのものの減少に伴う税負担の相対的な増加に苦しんでいる。『社会保障の充実』を理由とする消費税率3%引上げを目前にした今、それとは逆に、『重点化・効率化』の名のもとで社会保障の切捨てが行われているのが現状である。

このような国の動向と推移にそくした予算編成がどれだけ桐生市民の福祉の増進に寄与するか疑問を覚えるため本予算に反対する。

平成  
26年度

# 予算を可決

この定例会では、平成26年度桐生市一般会計予算及び11事業の特別会計予算並びに桐生市水道事業会計予算について審議を行い、それぞれ可決しました。なお、同予算を可決するにあたっては、予算特別委員会（委員19人で構成）を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。本会議における討論の概要は左記のとおりです。



(委員会の様子)

## 一般会計の補正予算

### ○平成25年度桐生市一般会計補正予算（第5号）可決

#### 歳出予算の主な補正内容

- 衛生費清掃センター費  
ごみ処理施設改修事業……………4億9,842万8,000円の追加  
(桐生市清掃センター延命のための改修工事費)
- 商工費商業振興費  
プレミアム付き商品券発行支援事業……………2,000万円の追加  
(補助率20%のプレミアム付き商品券発行支援補助金)

### ○平成25年度桐生市一般会計補正予算（第6号）可決

#### 歳出予算の主な補正内容

- 消防費災害対策費  
大雪災害対策事業……………2億5,734万4,000円の追加  
(農業施設や住宅等の復旧や撤去に要する費用の一部を助成)

### ○平成26年度桐生市一般会計補正予算（第1号）可決

#### 歳出予算の主な補正内容

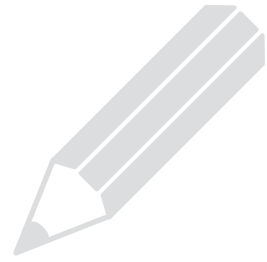
- 民生費社会福祉総務費  
臨時福祉給付金支給事業……………4億6,879万8,000円の追加  
(消費税率の引上げに伴い支給される臨時福祉給付金の事業関係費)
- 民生費児童福祉総務費  
子育て世帯臨時特例給付金支給事業…1億940万5,000円の追加  
(消費税率の引上げに伴い支給される子育て世帯臨時特例給付金の事業関係費)

議案番号・議案		議員氏名													結果									
		北川久人	人見武男	井田泰彦	飯島英規	新井達夫	岡部純朗	渡辺雅修	周藤享大	森山恵司	荒木崇文	相沢崇文	西牧秀乘	伏木康雄		山之内照二	周東芳江	小滝俊雄	幾井光好	佐藤賢一	福島幸雄	園田恵三		
市長提出	議案第1号	桐生市歴史まちづくり推進協議会条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第2号	桐生市消防長及び消防署長の資格を定める条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第3号	桐生市手数料条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第4号	桐生市火災予防条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第5号	桐生市過疎地域自立促進計画の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第6号	桐生市小口金融資促進条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	桐生市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第8号	市道路線の廃止及び認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第9号	調停の申立て等について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第10号	桐生市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第11号	桐生市立学校授業料等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	桐生市社会教育委員条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第13号	太田市と桐生市との間における旧藪塚本町の区域に係るごみ処理事務の委託の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第14号	平成25年度桐生市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第15号	平成25年度桐生市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第16号	平成25年度桐生市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第17号	平成25年度桐生市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第18号	平成25年度桐生市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第19号	平成25年度桐生市発電事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第20号	平成25年度桐生市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号・議案		議 員 氏 名															結 果							
		北川久人	人見武男	井田泰彦	飯島英規	新井達夫	岡部純朗	渡辺雅修	周藤享大	森山恵司	荒木崇文	相沢崇文	西牧秀康	伏木康雄	山之内照二	周東芳江		小滝俊雄	幾井光好	佐藤賢一	福島幸雄	園田恵三		
市 長 提 出	議案第21号	平成26年度桐生市一般会計予算	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○												原案可決
	議案第22号	平成26年度桐生市学校給食共同調理場事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○													原案可決
	議案第23号	平成26年度桐生市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○													原案可決
	議案第24号	平成26年度桐生市下水道事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○													原案可決
	議案第25号	平成26年度桐生市簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○													原案可決
	議案第26号	平成26年度桐生市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	×	○	○													原案可決
	議案第27号	平成26年度桐生市農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○													原案可決
	議案第28号	平成26年度桐生市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○													原案可決
	議案第29号	平成26年度桐生市新里温水プール事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○													原案可決
	議案第30号	平成26年度桐生市宅地造成事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○													原案可決
	議案第31号	平成26年度桐生市発電事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○													原案可決
	議案第32号	平成26年度桐生市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	×	○	○													原案可決
	議案第33号	平成26年度桐生市水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○													原案可決
	議案第34号	平成25年度桐生市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○													原案可決
	議案第35号	平成26年度桐生市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○													原案可決
	議案第36号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○													同 意
	議案第37号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○													同 意
	議案第38号	訴えの提起について	○	○	×	×	○	○	○	×	○													原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○													異議ない旨回答することに決定	
議員提出	議案第1号議案	平成26年2月の豪雪被害に対する激甚災害指定を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○													原案可決	



# 意見書



この定例会では、次の意見書案を可決し、  
内閣総理大臣ほかに送付しました。

## 平成26年2月の豪雪被害に対する 激甚災害指定を求める意見書

平成26年2月8日の積雪に加え、同14、15日の記録的な大雪は、  
市民生活に甚大な被害をもたらした。

今もなお、多くの被災者の方々は、二次災害や今後の生活等、  
多くの不安を抱えながら不自由な生活を余儀なくされている。

桐生市においても、災害復旧に向けて全力で取り組んでいると  
ころであるが、この甚大な被害に対しては、県及び市の対策に加  
え、国のさらなる支援が不可欠である。

については、今回の歴史的な大雪に対する被害について激甚災害  
に指定することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先 ○衆議院議長      ○参議院議長      ○内閣総理大臣  
○総務大臣      ○財務大臣      ○農林水産大臣  
○国土交通大臣      ○内閣府特命担当大臣（防災）